

**旭市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画
素案に関する意見と市の考え方**

No	該当箇所	意見の内容	市の考え方
1	<p style="text-align: center;">P45 第3章 計画の基本的 な考え方 基本目標2</p>	<p>昔は地域で、年代で決まった集まりがあった（子供会・老人会など）。子どもの頃から社会があった。</p> <p>今は、「煩わしい」を理由に地域の集まりに出ない、入らない、抜ける。隣の事など無関心な方が多い。この状況では地域づくり・高齢者の生きがい。どころか、災害時に助け合える環境ではない。これに各々が気づく必要があると考える。</p> <p>地域包括システムが大きくうたわれるようになったが、今や国家や行政に頼ってばかりはいられない時代になっているように感じる。</p> <p>地域づくりのきっかけは、高齢者にあると言われ、旭市でも高齢者を対象とした体操グループが35以上活動をしている。このグループを継続させ、次のステップに移行し、次世代につなげてゆくにはどうしたらよいか課題ではないか？その為には、各グループの中心核の人物、参加者が自分に出来ることは何か？を考え、少しずつ活動を広げてゆく事が大切と思う。</p>	<p>「基本目標2 自立した暮らしを支える地域の体制づくり」の中にある、多様なサービスと支援が連動して提供される地域ケアシステムの基盤として、地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターを配置することとしています。地域包括支援センターを中心に、従来からの第1層支援コーディネーターと協働し、地域資源やその他サービスの担い手となる高齢者を含めた住民の主体的な地域福祉活動が活発に行われ、地域全体が支え合う体制整備を推し進めていきます。</p>
2	<p style="text-align: center;">P46 第3章 計画の基本的 な考え方 基本目標4</p>	<p>私は、旭市市営住宅に住んでる者です。</p> <p>私達も高齢になり、今後この住宅で健康的に過ごしていけるのが大変心配な訳です。</p> <p>そこで、市に要望があります。</p> <p>「バリアフリーな市営住宅への建て替え」です。</p> <p>住み慣れた地域で、住み慣れた自宅で自分らしく安心して最期を迎えることができる、弱者に優しい、福祉環境のより充実した旭市になり、福祉先進自治体となるよう、切にお願いいたします。</p>	<p>「基本目標4 安心・安全な生活環境の整備」の中にある、高齢者の住まいと生活の一体的支援の中で、関係部署と連携を図り、協議してまいります。</p>